

葉いもち急増、穂いもち多発のおそれ ～葉いもち発生ほ場では、穂いもち防除の徹底を～

1. 病害虫名：いもち病（穂いもち）
2. 発生作物：水稻
3. 発生地域：全県
4. 発生時期：やや早い
5. 発生量：多い
6. 注意報発表の根拠（現在までの発生状況と今後の発生予想）
 - (1) 7月4～5半旬に実施した抽出ほ場調査（80地点）における葉いもちの発病株率は3.0%（平年2.4%）、同地点率は12.5%（平年13.6%）といずれも平年並、穂いもちの伝染源となる上位2葉の発病株率は0.7%（平年0.1%）と高く、同地点率は3.8%（平年2.1%）でやや高かった（表-2）。地域別では県北部での発病が多かった。
 - (2) 予察ほ場（品種：あきたこまち）における発病株率は7月14日から急増しており、7月21日の発病株率は北秋田市で50.0%（平年34.2%）、秋田市では58.0%（平年1.4%）と高く推移している（図-1、2）。
 - (3) 病斑増加状況調査（品種：ナツミノリ）でも7月17日から病斑増加が急激となり（第3世代病斑）、連日増加が認められている。7月23日からは上位葉での発病が増加し始めた（第4世代病斑）（図-3）。
 - (4) BLASTAM（アメダスデータを用いた葉いもち発生予測プログラム）において、7月17～20日に連続した感染好適日が全県的に出現している（表-3）。そのため、病斑増加は今後も続くことが予想され、病斑密度がさらに高まるとともに、葉いもち初期防除（育苗箱施用剤、側条施用剤、水面施用剤等）の効果は切れていることから、上位葉での発病も急増することが予想される。
 - (5) 7月20日に仙台管区气象台から発表された東北地方1か月予報によると、向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予報されている。
 - (6) 7月20日発表の作況ニュース第6号によると、稲の生育は平年並からやや早まるとされていることから、穂いもちの発生はやや早くなると予想される。

以上のことから、葉いもち発生ほ場、特に上位葉で発生が多いほ場では穂いもちが多発するおそれがあるため、穂いもち防除を徹底する必要がある。さらに、7月14日から大雨によって冠水や浸水したほ場では稲体の抵抗力が低下しているので十分注意する。

7. 防除対策

- (1) ほ場によって葉いもちの発病程度は大きく異なるので、水田内に入って葉いもちの発病状況をよく確認する。
- (2) 穂いもちが発病してからの防除では手遅れになるので、次の防除対応を適期に行う（表-1）。
 - ①葉いもちの発生が確認されるほ場では、直ちにコラトップ剤（コラトップ1キロ粒剤12、コラトップ豆つぶ、コラトップ粒剤5）、ゴウケツ粒剤／サンブラス粒剤のいずれかを散布するか、出穂直前にトライフロアブル又はビーム剤と穂揃期にトライフロアブル又はラブサイド剤の茎葉散布を行う。
 - ②葉いもちが多発しているほ場では、上記に加え必要に応じて傾穂期にもラブサイド剤による

追加防除を行う。

- (3) 本年は出穂期が平年より早まるほ場が多くなると見込まれるので、防除時期を逸しないように注意する。
- (4) 本田での総使用回数は、テブフロキン剤（トライ剤）は2回、フサライド剤（ラブサイド剤、ブラシン剤等）及びトリシクラゾール剤（ビーム剤、ノンブラス剤等）はそれぞれ3回以内となっているので注意する。

表-1 穂いもち防除剤一覧

農薬名	農薬の種類	粒剤	粉剤 DL	ゾル・フ ロアブル	散布時期	散布量又は 希釈倍数 [散布液量]
コラトップ1キログラム剤	ピロキロン 剤	○			出穂15～ 7日前	1～1.5kg/10a
コラトップ豆つぶ						250g/10a
コラトップ粒剤5						4kg/10a
ゴウケツ粒剤 サンブラス粒剤	トルプロカ ルブ剤	○				
トライ	テブフロキ ン剤			○	出穂直前 穂揃期	粉剤DL： 3～4kg/10a
ビーム	トリシクラ ゾール剤		○	○	出穂直前	ゾル・フロアブル： 1,000倍
ラブサイド	フサライド 剤		○	○	穂揃期 傾穂期	[100～150L]

注意事項

ア、粒剤は湛水状態で田面に均一に散布し、散布後4～5日間は水を入れない。また、周辺環境に配慮し、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。

イ、茎葉散布剤を散布した後、数日以内の積算降水量が液剤の場合200mm、粉剤の場合100mmにならなければ再散布する必要がない。

ウ、傾穂期以降のビームゾルの散布は、葉の黄化や葉先枯れなどを生じることがある。これは有機リン剤、カーバメート剤などの混合によって助長されるので、この時期、本剤の使用は避ける。

8. 資料

表-2 抽出ほ場における葉いもちの発生状況(7月4～5半旬)

	葉いもち 発病株率	葉いもち 発病地点率	上位葉葉いもち 発病株率	上位葉葉いもち 発病地点率
県北部	5.3 (1.6)	25.0 (13.3)	2.2 (0.1)	8.3 (2.2)
県中央部	2.2 (1.4)	4.2 (8.4)	0 (0.1)	0 (1.2)
県南部	2.5 (3.6)	9.4 (18.1)	0.5 (0.1)	3.1 (1.9)
全県	3.0 (2.4)	12.5 (13.6)	0.7 (0.1)	3.8 (2.1)
概評	並	並	多	やや多

()は平年値

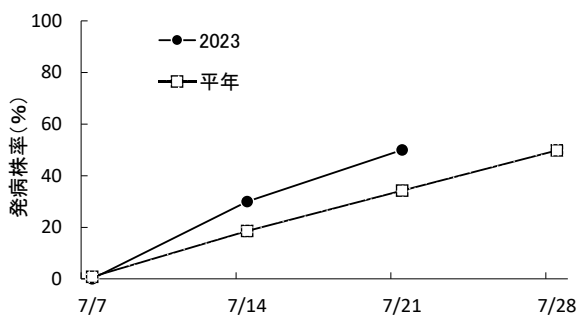


図-1 葉いもち発病株率の推移 (北秋田市予察ほ)

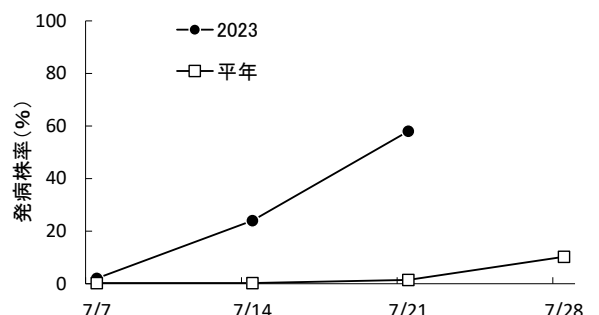


図-2 葉いもち発病株率の推移 (秋田市予察ほ)

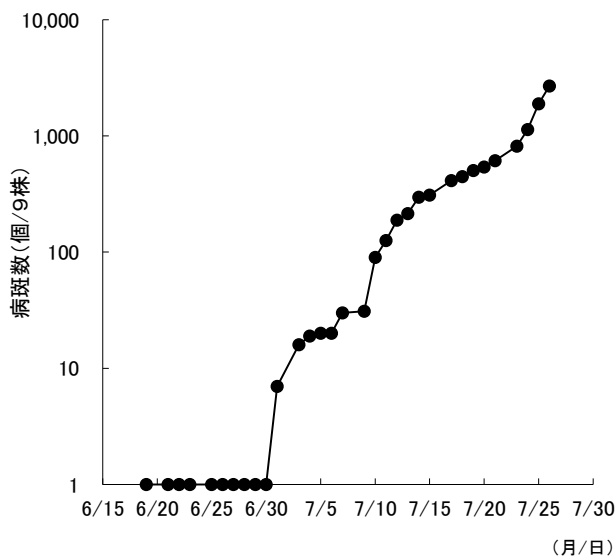


図-3 秋田市予察ほ場における病斑増加状況調査
(品種:ナツミノリ)

表-3 葉いもち感染好適日判定結果一覧(2023年)

月日	BLASTAM法による感染好適結果																							
	観測地点																							
	八森	能代	鷹巣	大館	鹿角	湯瀬	八幡平	男鹿	大潟	五城目	阿仁合	秋田	岩見三内	角館	田沢湖	大正寺	大曲	本荘	東由利	横手	にかほ	矢島	湯沢	湯の岱
7/01	-	-	-	●	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/03	△	-	-	●	△	-	-	-	●	△	△	-	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-
7/04	-	-	-	-	●	●	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-
7/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
7/06	-	-	-	-	-	△	△	-	-	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	●
7/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/09	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/10	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●
7/11	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
7/12	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	-	●	-	-	-	-	-
7/13	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
7/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/15	-	-	-	-	△	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●
7/16	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/17	●	●	●	●	●	●	-	-	-	-	●	-	●	●	●	●	-	-	●	-	-	●	-	●
7/18	-	●	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	-	-	-	●	●
7/19	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-	●	-	-	-	-	●	●	●	●	●	-	●	●	-
7/20	-	●	●	●	●	-	-	●	-	●	●	△	●	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	●
7/21	-	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/22	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●:感染好適条件 ○:準感染好適条件 △:感染可能条件 -:感染好適条件を満たさない ※:判定不能

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660
 秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326
 掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>